

# 高知ファミリークリニックの母乳育児 支援の取り組みと母乳率

平成24年7月～9月分娩147例について

高知ファミリークリニック

正木紀子、 福永寿則

# 産科データ

分娩数 147例（平成24年7月～9月）

初産婦 53例（36.1%）

経産婦 94例（63.9%）

年齢 平均 31歳（19～44）

多胎 0例

37週未満の早産 0例

2500g未満の低出生体重児 7例（4.8%）

・ ・ ・ 2000g未満の新生児 0例

帝王切開 14例（9.5%）

・ ・ ・ 既往帝王切開 11例

骨盤位 3例

その他 0例

光線療法 23例（15.6%）

# 検討対象除外症例

新生児搬送 4 例

(搬送理由)

徐脈	1 例
多呼吸	1 例
尿膜管遺残疑い	1 例
奇形	1 例



分娩 1 4 7 例中、**1 4 3 例** について検討

# 母乳育児支援の取り組み

## (外来)

妊娠 4 か月

妊娠 5 か月

妊娠 6 か月

妊娠 8 か月

冊子「お母さんと赤ちゃんのための母乳育児」  
ソフロロジー式分娩準備（妊娠中の過ごし方）  
の説明

本「新母乳育児なんでも Q & A」購入の勧め  
母親教室（1回）

「新しい家族のスタート」

「ソフロロジー式分娩法」

冊子「快適な育児のコツ」

## (分娩時)

家族立ち合い分娩の勧め

分娩直後の抱っこ（STS）

# 母乳育児支援の取り組み

(産後) 分娩直後からの母子同室・家族同室  
頻回授乳の指導

：1日12回を目安

母乳育児安定期には1日7～8回の授乳を目安  
授乳姿勢と適切な吸着  
水分摂取、肩の運動など

「糖水・人工乳補足基準」使用

(退院) 退院後1週間健診

# 糖水・人工乳補足基準

- ① 児の体重減少が11～13%で、その時点の母乳分泌量などから、さらに体重減少が予想される場合
- ② 低出生体重児で、補足しなければ、体重が2100 g 以下に減少することが予想される場合
- ③ 排尿回数が1日に1回以下の場合
- ④ 体温上昇し、感染徴候がなく、環境の調整によっても改善しない場合
- ⑤ 児が泣き止まないなど、母親の精神的ストレスの大きい場合

# 糖水・人工乳補足方法

- ① 基本的に医師の指示による
- ② カップまたはスプーンを使用
- ③ 5%糖水または人工乳を、1回10～20 mL  
1日4回から始める

## (補足内容)

- ・ 体重減少率が11%以上の場合は、糖水または人工乳
- ・ 低出生体重児の場合は、人工乳
- ・ その他の場合は、糖水

# 入院中栄養状況

対象 143例

糖水のみ補足 12例 ( 8.4 % )

人工乳のみ補足 4例 ( 2.8 % )

糖水・人工乳補足 5例 ( 3.5 % )

母乳のみ 122例 ( 85.3 % )



# 母乳率

( 1 4 3 例全例について )

退院時	人工乳	0 例	( 0.0 % )
	混合	8 例	( 5.6 % )
	母乳	1 3 5 例	( 94.4 % )
	完全母乳	1 2 2 例	( 85.3 % )

1 か月	人工乳	1 例	( 0.7 % )
	混合	2 1 例	( 14.7 % )
	母乳	1 2 1 例	( 84.6 % )
	完全母乳	1 0 6 例	( 74.1 % )

# 母乳率

(正常対照群 123 例について)

退院時	人工乳	0 例 ( 0.0 % )
	混合	8 例 ( 6.5 % )
	母乳	1 1 5 例 ( <b>93.5 %</b> )
	完全母乳	1 0 5 例 ( 85.4 % )
1 か月	人工乳	1 例 ( 0.8 % )
	混合	1 6 例 ( 13.0 % )
	母乳	1 0 6 例 ( <b>86.2 %</b> )
	完全母乳	1 9 2 例 ( 74.8 % )

正常対照群 . . . 対象143例から、妊娠37週未満、出生体重  
2500 g 未満、帝王切開例をのぞいた123例

# 児体重最大減少率

(正常対照群 123 例について)

## 児体重最低日齢

平均 2.7 日  
最少 1 日  
最大 6 日

## 児体重最大減少率

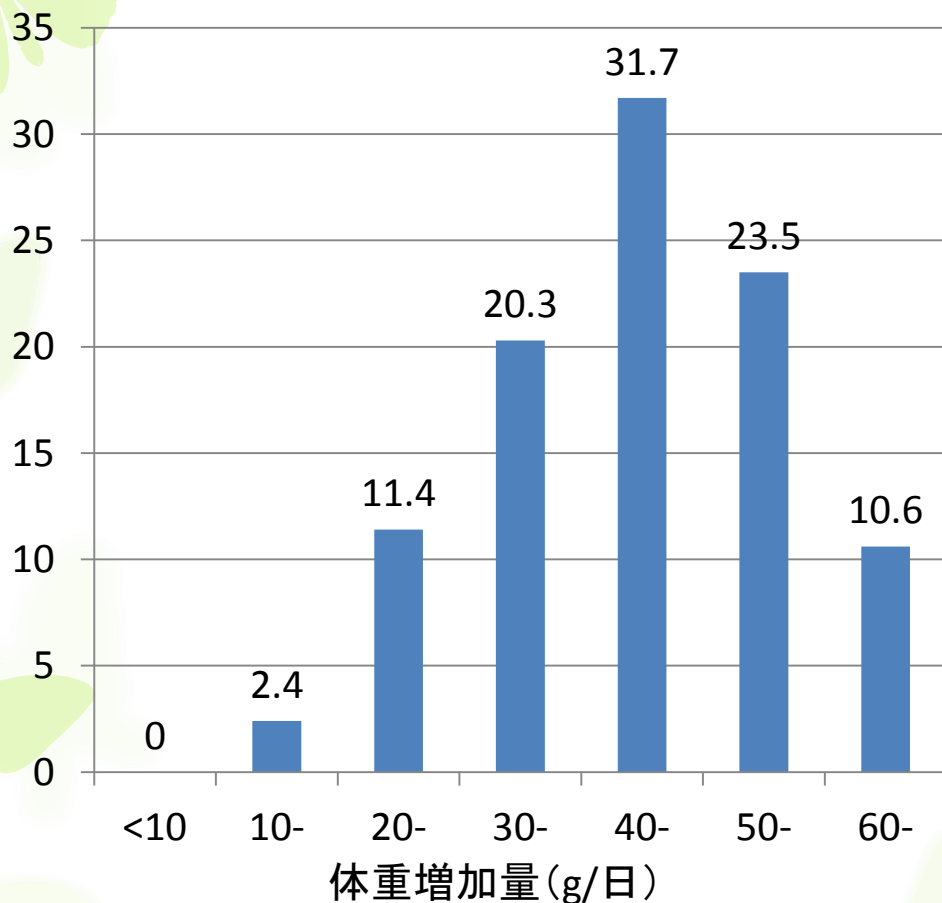
平均 8.3 %  
最少 3.1 %  
最大 14.3 %

## 児体重最大減少率

10 % 以上 29 例 ( 23.6 % )  
13 % 以上 6 例 ( 4.9 % )

# 退院時から1か月健診までの体重増加量(g/日) (正常対照群 123 例について)

例数(%)



10g 未満	0例 ( 0.0 % )
10 ~	1例 ( 0.8 % )
15 ~	2例 ( 1.6 % )
20 ~	14例 (11.4 % )
30 ~	25例 (20.3 % )
40 ~	39例 (31.7 % )
50 ~	29例 (23.5 % )
60 ~	13例 (10.6 % )

# 入院中糖水・人工乳を補足した症例の 検討

**糖水のみ補足** 12例 ( 8.4 % )

理由：発熱・あるいは啼泣 6例

母乳分泌不全・体重減少 6例

**人工乳のみ補足** 4例 ( 2.8 % )

理由：低出生体重児 3例

母乳分泌不全・体重減少 1例

**糖水・人工乳補足** 5例 ( 3.5 % )

理由：母乳分泌不全・体重減少 4例

乳頭痛・母人工乳希望 1例

# 母乳分泌不全・体重減少で糖水のみ 補足した1例の経過

妊娠41週1日 経膈分娩 2818g アプガー 9→10

日齢	体重 (g)	体重 減少率	体重増加量 (g/日)	糖水補足量	
0	2818	0.0%			
1	2590	-8.1%			
2	2500	-11.3%			
3	2440	-13.4%		20mLを4回/日	
4 (退院)	2520	-10.6%	80	糖水中止	直母のみで退院
10	2620	-7.0%	16.7		直母のみ
16	2840	0.8%	36.7		直母のみ

# 母乳分泌不全・体重減少で糖水、人工乳の両方を補足した1例の経過

妊娠39週2日 経膈分娩 2870g アプガー 8→9

日齢	体重 (g)	体重減少率	体重増加量 (g/日)	糖水補足量	人工乳補足量	
0	2870	0.0%				
1	2670	-7.0%				
2	2575	-10.3%				
3	2480	-13.6%		30mLを4回/日		
4	2475	-13.8%		糖水中止	30mLを4回/日	光線療法開始
5 (退院)	2530	-11.8%	55		30mLを4回/日	光線療法中止 混合で退院
8	2660	-7.3%	43.3		30mLを2回/日	人工乳中止
13	2805	-2.3%	29			直母のみ
32 (1か月)	3500	22.0%	36.6			直母のみ

# 低出生体重児で人工乳のみ補足した1例の経過

妊娠38週3日 帝王切開 2002g アプガー 9→9

日齢	体重 (g)	体重減少率	体重増加量 (g/日)	人工乳補足量	
0	2002	0.0%		2mLを1回 4mLを6回/日	
1	1900	-5.1%		6mLを6回/日	
2	1865	-6.8%		12mLを6回/日	
3	1880	-6.1%	15	12mLを6回/日	
4	1915	-4.3%	35	12mLを6回/日	
5	1980	-1.1%	65	12mLを1回/日	人工乳中止
6 (退院)	1985	-0.8%	5		直母のみ
10	2070	3.4%	21		直母のみ
15	2160	7.9%	18		直母のみ
22	2440	21.9%	40		直母のみ
34 (1か月)	2880	43.9%	37		直母のみ